



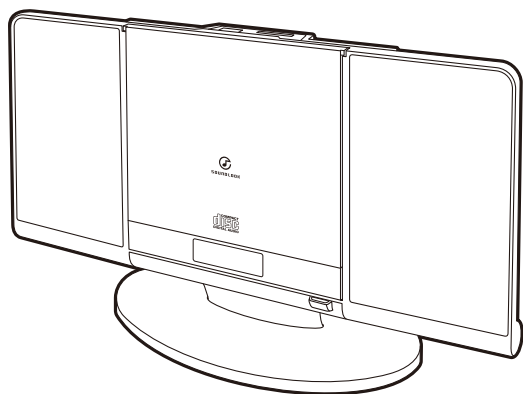
SOUNDLOOK

家庭用

ステレオCDシステム

SDD-4758

取扱説明書（保証書別途添付）



このたびはサウンドルックスステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

目次

- 安全上のご注意・・・・・・・・・・1～3
- お使いになる前に・・・・・・・・・・4
- 各部のなまえ・・・・・・・・・・5～6
- 設置・接続のしかた・・・・・・・・・・7
- リモコンについて・・・・・・・・・・8
- 時計の合わせかた・・・・・・・・・・9
- スリープ機能・・・・・・・・・・9
- ディスプレイのバックライトについて・9
- アラームの使いかた・・・・・・・・・・10
- CDを聴く・・・・・・・・・・11～12
- MP3ファイルを聴く・・・・・・・・13～14
- ラジオを聴く・・・・・・・・・・15
- 外部音声機器を聴く・・・・・・・・・・16
- 市販のヘッドホン/イヤホンで聴く・16
- お手入れのしかた・・・・・・・・・・17
- 故障かな？と思われるときは・・17
- 仕様・・・・・・・・・・18
- アフターサービスについて・・・・18

小泉成器株式会社

安全上のご注意

*ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

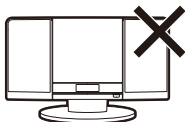
※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告



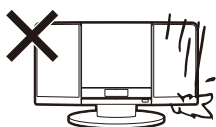
煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときはコンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



機器内部に異物や水などが入った場合は、本体のスイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず販売店にご相談ください。



機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない

事故や故障の原因になります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）使用しない

火災・感電の原因になります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。



万一、この機器を落としたり、破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

雷が鳴ったら、ACアダプターを抜く
落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
電源コードが破損して火災・感電の原因となります。



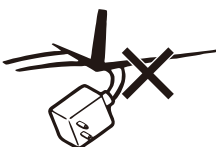
濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となる場合があります。



電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする

電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



改造はしない

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または「サービスセンター」にご相談ください。



⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

機器の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。直射日光の当たる高温の自動車内には置かないでください。



油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 注意

湿気やほこりの多い場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。



レーザー光線をのぞき込まない
(CD部)

レーザー光が目にあたると視力障害
を起こすことがあります。

指定以外の乾電池は使用しない
また新しい乾電池と古い乾電池
を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災
・けがや周囲を汚損する原因となる
ことがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、
火や水の中に入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災
・けがの原因となることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にな
らないときは必ずACアダプター
をコンセントから抜いておく

火災の原因となることがあります。



お手入れの際は安全のためACアダ
プターをコンセントから抜いて行う
感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときは電
源コード引っ張らない

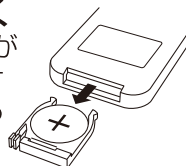
電源コードが傷つき、火災・感電の
原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッ
チを切り、必ずACアダプター
をコンセントから抜き、外部の
接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の
原因となることがあります。

長時間使用しないときはバック
アップ用乾電池、リモコンの電
池を取り出しておく

電池の液もれで回路が
ショートし、火災・ケ
ガ・汚損の原因となる
ことがあります。



テレビ、オーディオ機器スピー
カ等の接続する場合は、各々の
機器の取扱説明書をよく読み、
電源を切り、説明に従って接続
する

電池のプラス・マイナスは正しく
入れる

電池の発熱・破裂、液もれにより、
火災、ケガや周囲を汚損する原因と
なることがあります。

電池は幼児の手の届かないとこ
ろに保管する

万一飲み込んだ場合に
はただちに医師とご相談
ください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因
となることがあります。特にヘッドホン
をご使用になるときは注意してください。



幼児がCD挿入口に、手を入れ
ないように注意する

ケガの原因となる
ことがあります。

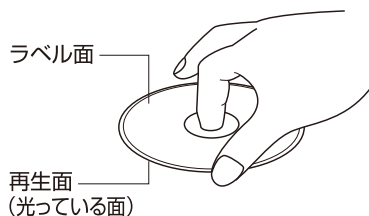


お使いになる前に

CDについて

CDの持ちかた

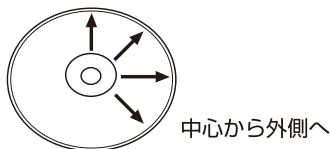
再生面に触れないように、CDの端を持ってください。



- 再生面やラベル面に紙やテープなどを貼らないでください。
- CDは曲げないでください。

CDのお手入れ

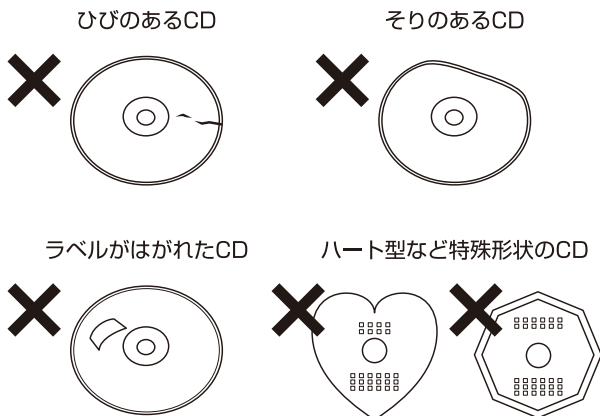
指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで中心から外側へと拭きとってください。



- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールで拭かないでください。

使用できないCD

故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。

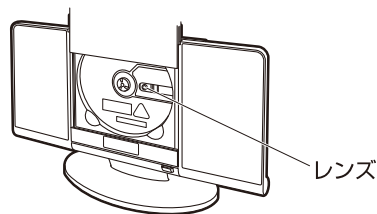


※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。



バックアップ用電池について

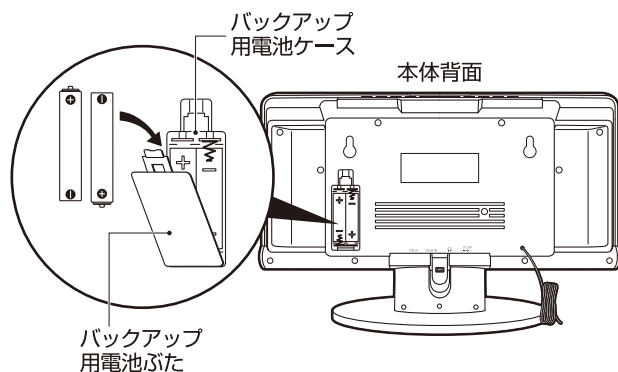
バックアップ用電池とは、停電時などに時刻設定・プリセット設定などを一時的に記憶しておくための電池です。

ご注意

本機はバックアップ用電池を入れなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと時計機能などを維持しません。

バックアップ用電池の交換

単4形乾電池2本(別売)を極性(+、-)を間違えないように入れてください。



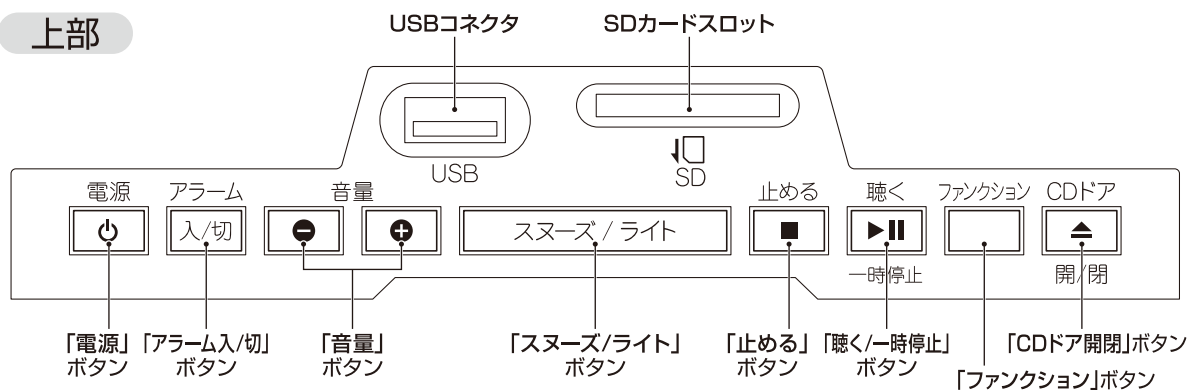
ご注意

電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

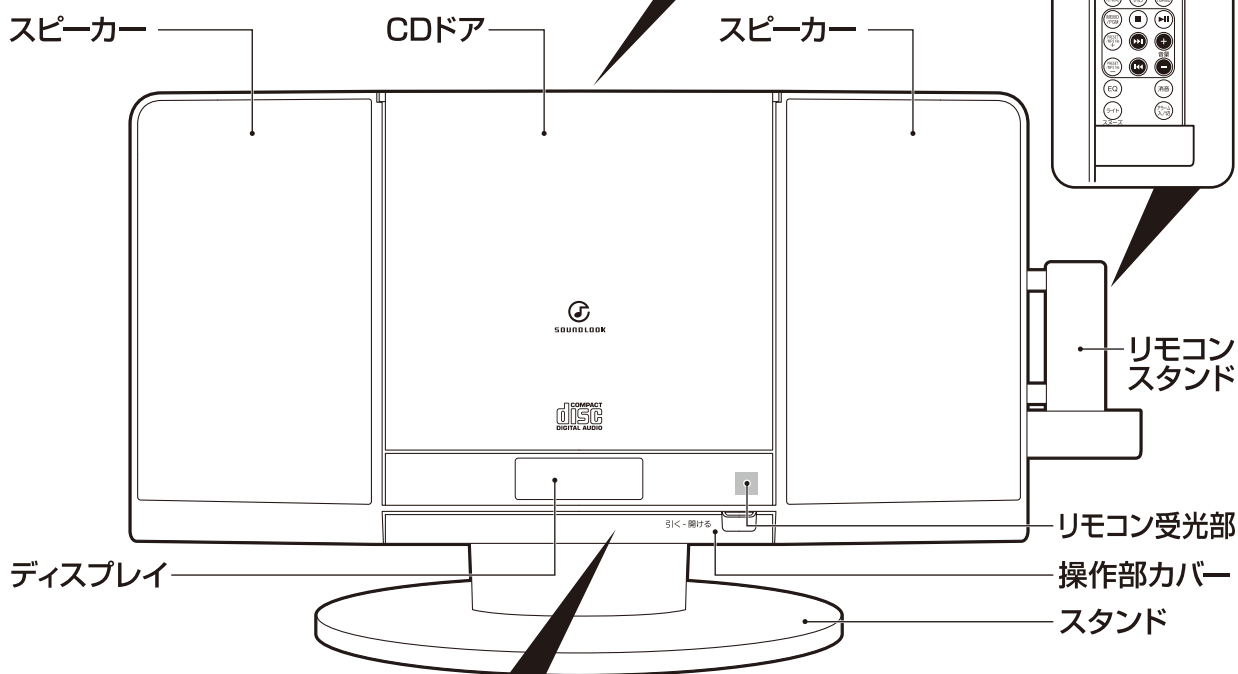
- 長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

各部のなまえ

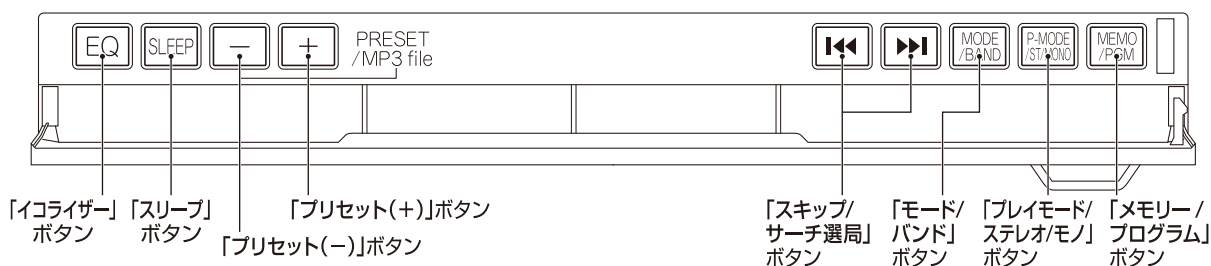
上部



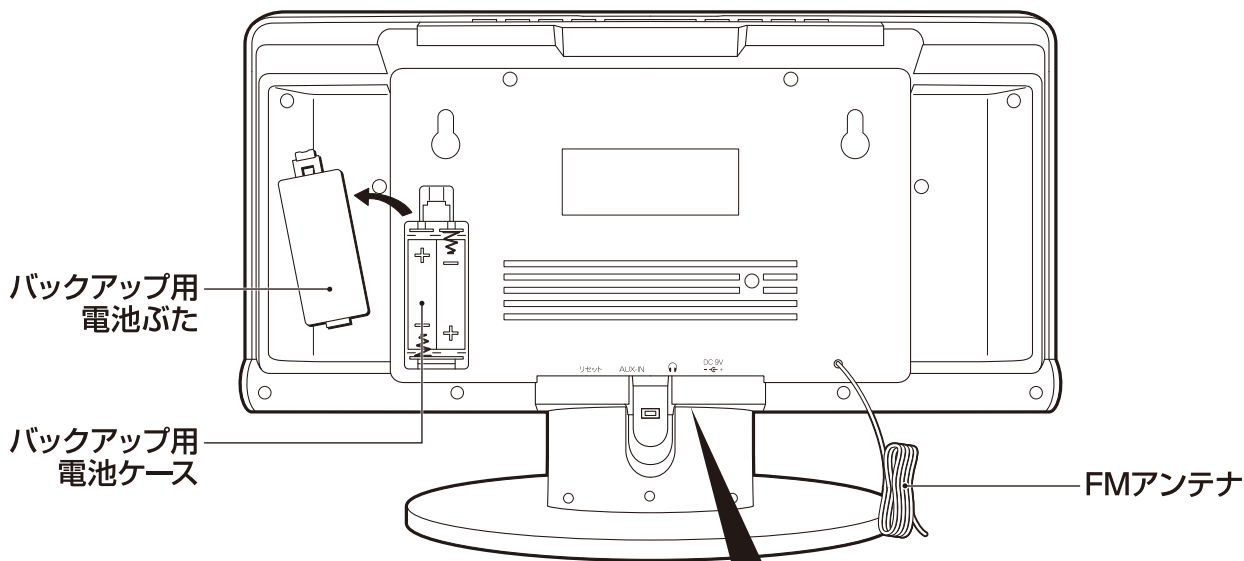
正面



操作部

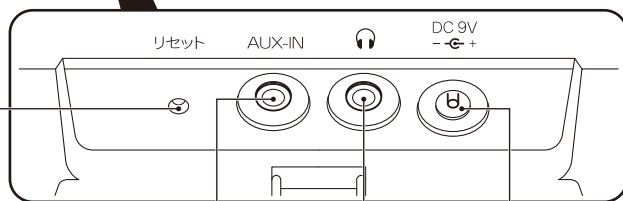


背面



「リセット」スイッチ

使用中、ボタン操作を受け付けないなど動作がおかしいときは、先の細いもので押してください。
出荷時の初期状態になります。
(→P.17参照)



AUX IN端子 (外部入力端子)

外部音声機器と市販の接続コード(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。
(→P.16参照)

ヘッドホン端子

市販のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。
(→P.16参照)

DC IN端子

付属のACアダプターをつなぎます。
(→P.7参照)

付属品

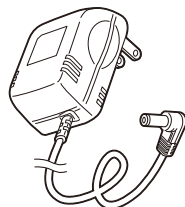
※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



取扱説明書



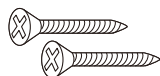
保証書



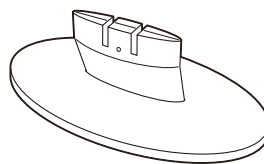
ACアダプター



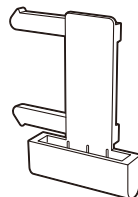
リモコン
(ボタン電池付属)



壁掛け用ネジ(2本)



スタンド



リモコン
スタンド



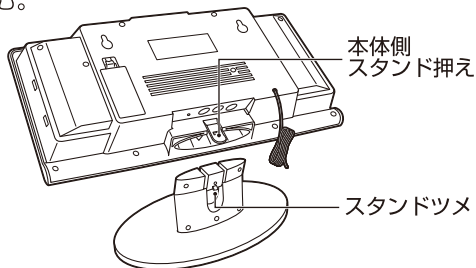
取付けガイド

万一故障した場合はお買上の販売店にご相談ください。

設置・接続のしかた

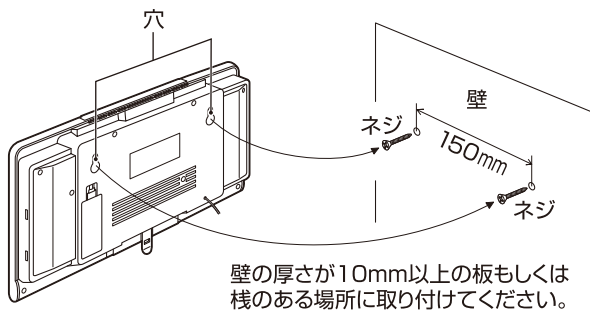
スタンドの取り付けかた

スタンドのツメと本体背面のスタンド押えを合わせて、本体を押し込む。



壁への取り付けかた (参照) 付属の取付けガイド

1. 付属の壁掛け用ネジを壁に取り付ける。
2. 本体背面の穴をしっかりとめ込む。



ご注意

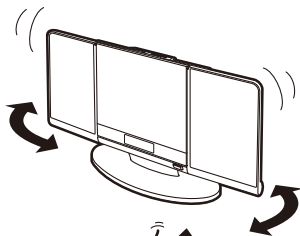
土壁、繊維壁には直接掛けないでください。
使用中に落下するおそれがあります。

設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

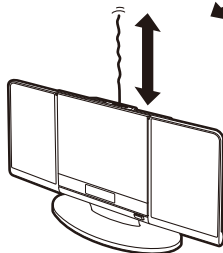
AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

できるだけ高いところにFMアンテナを張ってください。

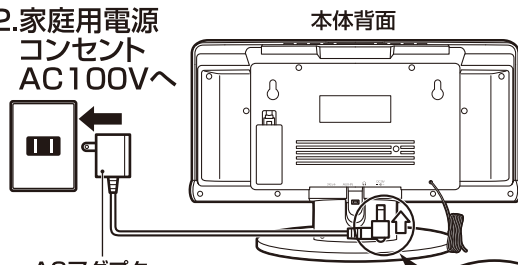


- 次のような場所では使用・保管しないでください。
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
 - ちりやほこりなどの多い場所。
 - 風呂場など湿気の多い場所。

接続のしかた

※付属のACアダプター(型番:SAD-9015)は、SDD-4758専用です。他の製品には使用しないでください。

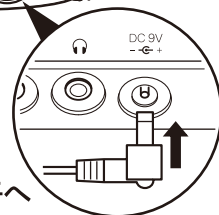
2. 家庭用電源 コンセント AC100Vへ



ACアダプター

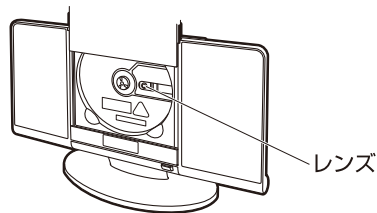
※使用中、熱くなりますが異常ではありません。

1. 本体の DC IN端子へ



ご注意

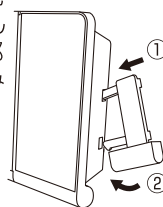
- ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ったり、濡れた手でさわると、ショートや感電の恐れがあります。
- 電源コードの上に重いものせないでください。
電源コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- 本体の分解・改造は絶対にしないでください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅く、スムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動させ、しばらくしてから使用を開始してください。
- テレビやチューナーなどのそばで使用しないでください。雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- レンズにはほこりがつかないように、使用しないときはCDドアを閉めておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。



リモコンスタンド

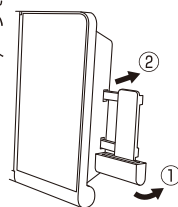
取り付けかた

上部を先に差し込んでから下部を差し込みます。



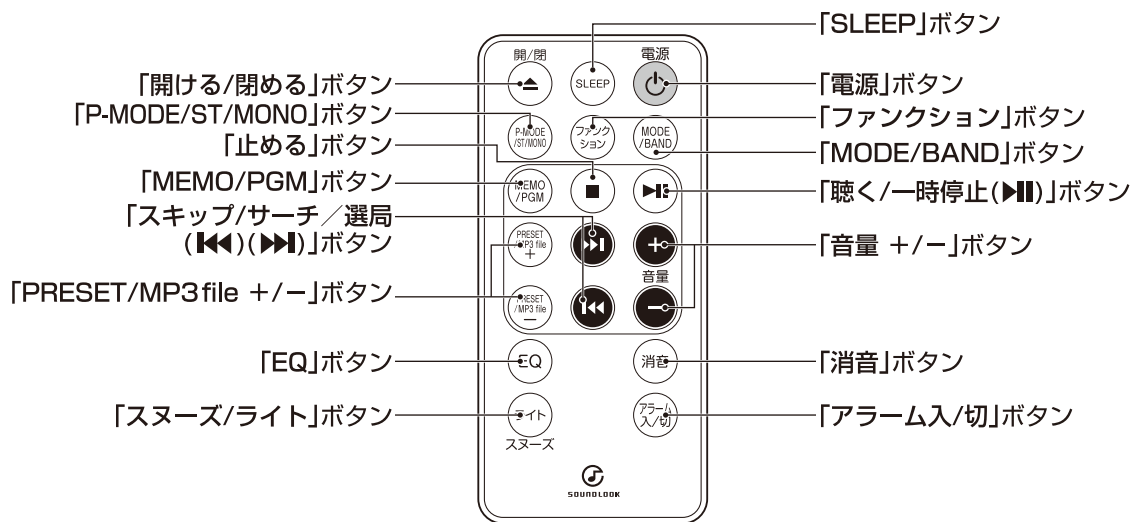
取り外しかた

下部を先に外してから上部を外します。

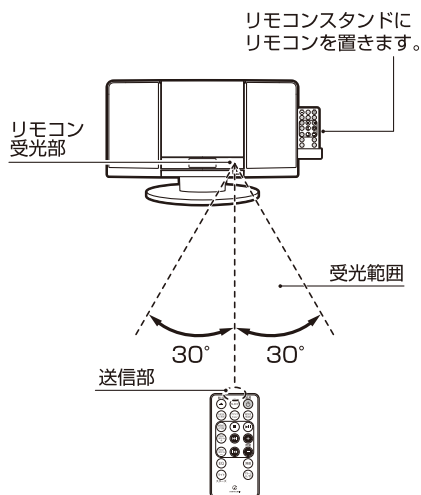


リモコンについて

リモコン



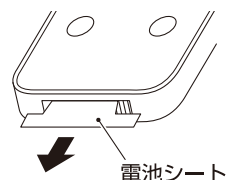
リモコンの使いかた



リモコンの電池について

リモコンにはボタン電池 (CR2025) が付属しております。

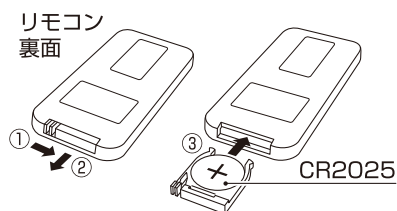
はじめてお使いになるときに、リモコンの電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。



リモコンの電池交換

ボタン電池 (CR2025) を極性 (+, -) を間違えないように入れてください。

ボタン操作がしずらくなったら、リモコンの電池を交換してください。

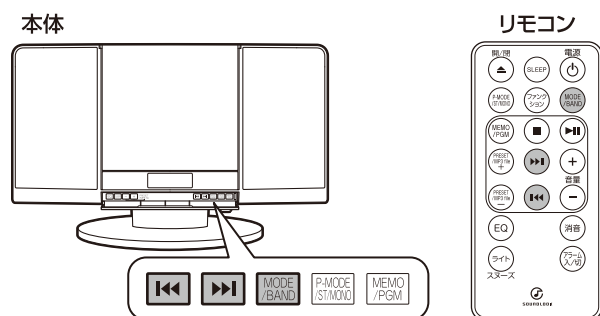


ご注意

電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
- ⊕ プラスと ⊖ マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

時計の合わせかた

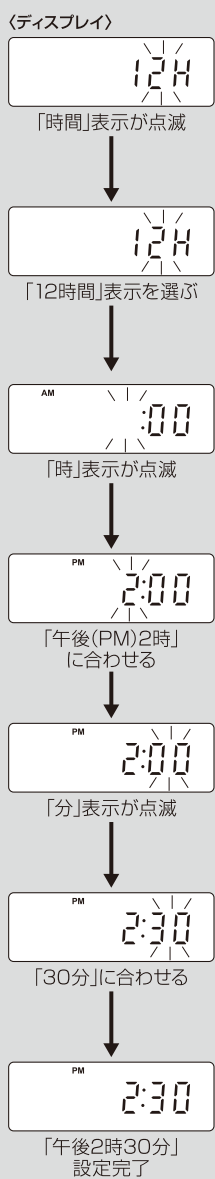


- 約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

電源「切」の状態

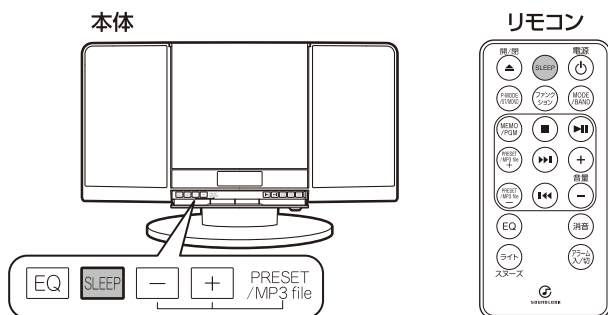
1. **MODE/BAND** を長押しする。
2. **⏮** **⏭** で「時間」表示を選ぶ。
「12H」…12時間表示 (AM/PM)
「24H」…24時間表示
3. **MODE/BAND** を押す。
4. **⏮** **⏭** で「時」表示を合わせる。
5. **MODE/BAND** を押す。
6. **⏮** **⏭** で「分」表示を合わせる。
7. **MODE/BAND** を押して設定完了。

例: 12時間表示の
午後2時30分に設定



スリープ機能

■設定した時間が経つと自動的に電源が切れます。

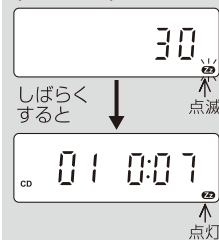


電源「入」の状態

SLEEP を押して、指定したい時間に合わせる。

> 10 → 20 → 30 → …90
— OFF (スリープ解除) <—

例: 30分後に設定
(ディスプレイ)

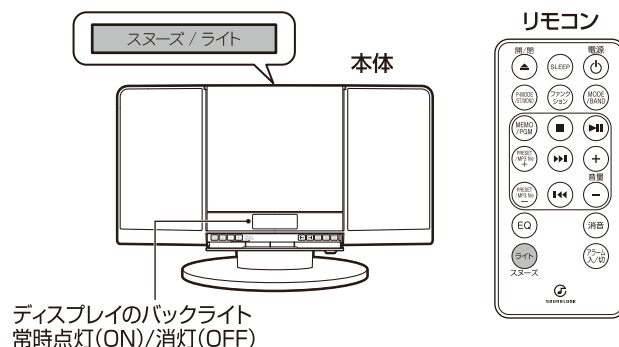


- SLEEP** を押すたびに設定時間が変わります。
- ディスプレイに表示された **ZZ** が点滅から点灯になると、設定完了です。

解除する	SLEEP を押して“OFF”を選ぶ。
残り時間を確かめる	スリープ機能作動中 SLEEP を1回押す。

ディスプレイのバックライトについて

スヌーズ / ライト でディスプレイのバックライトの常時点灯 (ON)、消灯 (OFF) の切り換えができます。



ディスプレイのバックライト
常時点灯 (ON) / 消灯 (OFF)

アラームの使いかた

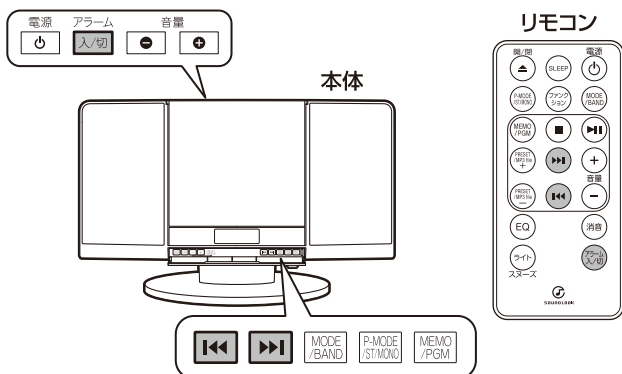
あらかじめ

①時計を合わせておく。(P.9参照)

②音源(ラジオ/CD/USB機器・SDカード)を準備しておく。

■設定した時刻にお好みの音源を鳴らすことができます。

- 音源は[電子音]/[ラジオ]/[CD]/[USB機器]・[SDカード]内の音楽データの4種類から選択。



- 3種類の設定(1アラーム1/2アラーム2/1アラーム1・2)をし、使い分けることができます。

アラーム時刻を設定する

- 約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

アラーム

1. **入/切** を長押しする。
(1アラーム1の設定を始める)
2. **時間** を合わせて **入/切** を押す。
3. **分** を合わせて **入/切** を押す。
4. **アラーム音源** を選んで **入/切** を押す。
5. **音量** を合わせて **入/切** を押す。
6. 上記2~5を繰り返す。
(2アラーム2の設定を始める)

例: 1アラーム1を音源CDで午前6時30分に設定

<ディスプレイ>

6:00

6:30

CD

L15

押すごとに変わります。

[電子音] [ラジオ] [CD] [USB-SDカード]

※設定途中で **スヌーズ/ライト** を押すと、それまで設定したものが保存されます。

<ディスプレイの左上>



アラームを設定する	アラーム 入/切 を押して、左記で時刻設定した“1”/“2”/“1+2”を選択する。
鳴っているアラームを止める	アラーム 入/切 を押す。 (翌日の同時刻まで停止します。)
アラームの解除	アラーム 入/切 を押して、ディスプレイから“1”と“2”を消す。

■音源を[電子音]にした場合

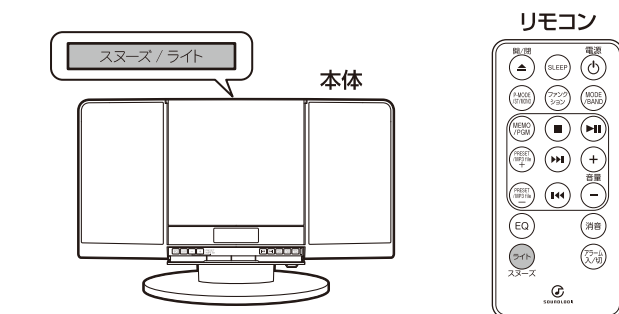
- 音量の設定はできません。
- アラームが鳴り続けて約3分間経過すると、自動的にスヌーズ機能がはたらきます。

■音源を[ラジオ/CD/USB機器・SDカード]にした場合

- 音量は(最小)“L10”~“L30”(最大)まで設定できます。
- アラームは設定した音量まで徐々に大きくなります。
- USB機器とSDカードが両方とも本体に差し込まれている場合、USB機器が優先されます。
- アラームが鳴り続けて約30分間経過すると、翌日の同時刻までアラームは停止します。

スヌーズ機能

鳴っているアラームを一時的に停止させることができます。



アラームが鳴っているとき

スヌーズ/ライト を押す。

ディスプレイ

点灯

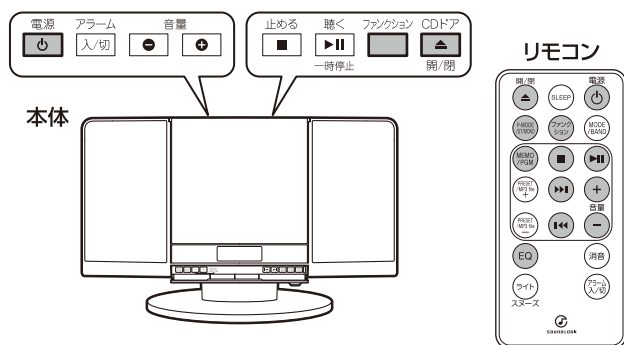
6:30

- 10分間停止後、再び鳴り始めます。
- スヌーズ機能は3回繰り返され、4回目のアラーム後、翌日の同時刻まで停止します。

スヌーズ機能を止める	アラーム 入/切 を押す。 (翌日の同時刻まで停止します。)
------------	--------------------------------------

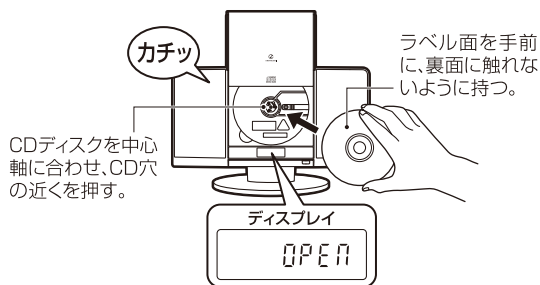
CDを聴く

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。
ご使用前に保護シートを取り外してください。



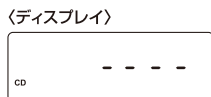
1. 電源
電源を入れる。

2. CDドア
開/閉
CDドアを開け、CDをセットする。



• CDドアを閉めるには、もう一度
開/閉

3. ファンクション
「CD」を選択する。



- ディスプレイに全曲数が表示された後、1曲目から演奏が自動的に始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。
- 演奏停止後、無操作の状態で約1分間経過すると自動的に電源が切れます。

音量を調節する	音量 を押す。
演奏を止める	止める を押す。
一時停止をする	聴く を押す。 一時停止 •演奏に戻るにはもう一度押す。
早送り・早戻しする	演奏中/一時停止中に を押し続ける。 •ボタンから指を離すと演奏に戻る。
曲の頭を探す (スキップ)	演奏中/一時停止中 (前の曲へ) (次の曲へ) を押す。 停止中 で聴きたい曲を選んだ後、 聴く を押す。 一時停止

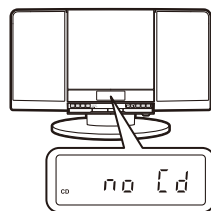
ディスプレイの表示について

停止中

総曲数と総時間が表示されます。



- ディスプレイに **no [d]** が表示された場合、以下の項目を確認してください。

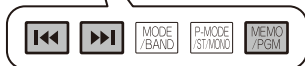
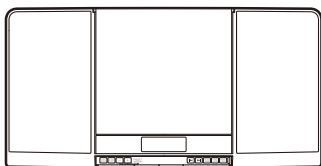


- ①CDが正しくセットされていますか？
- ②CDの裏表を間違えていませんか？
- ③レンズが汚れていませんか？(P.17参照)
- ④CDが汚れていませんか？
正常に作動しているときは、ディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。

いろいろな演奏のしかた

プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

本体



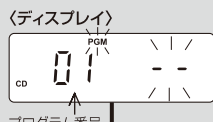
リモコン



停止中に

1. **MEMO/PGM** を押す。

例: プログラム番号1に
曲番号3を予約



プログラム番号

曲番号

例: プログラム番号2に
曲番号5を予約



プログラム番号

曲番号



曲番号

2. **REW** **F.FW** で
お好みの曲を選び、
MEMO/PGM を押す。

3. 上記の2の操作を繰り返し、
予約していく。

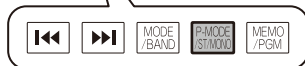
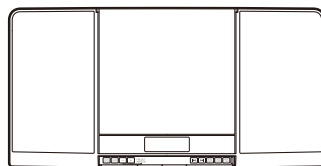
- 最大20曲までお好みの曲を予約順
に聴くことができます。

4. **PAUSE** を押す。
一時停止

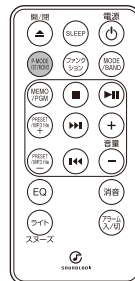
- プログラム演奏が始まります。

リピート(くり返し)/ランダム(順不同)に聴く

本体

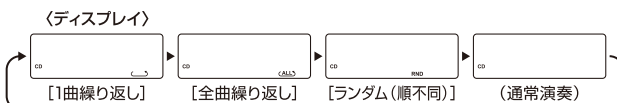


リモコン



演奏中/一時停止中に

P-MODE/ST-MONO を押す。 • 押すごとに設定が変わります。



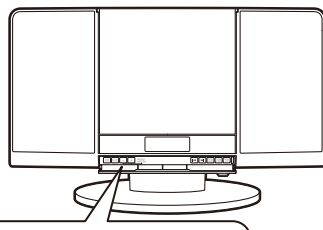
1 1曲繰り返し ... お好みの1曲を繰り返し演奏します。

ALL 全曲繰り返し ... 全曲を繰り返し演奏します。

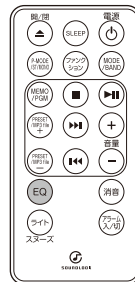
RND ランダム(順不同) ... 順不同に演奏します。

イコライザー機能 (お好みの音質で聴く)

本体

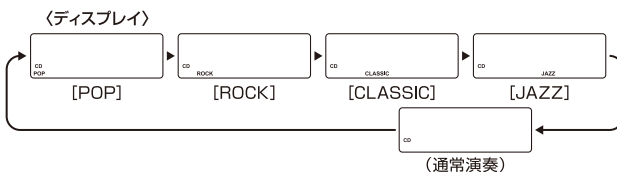


リモコン



演奏中/一時停止中/停止中に

EQ を押す。 • 押すごとに設定が変わります。



予約順を
間違えたとき

曲番号“- -”のとき

MEMO/PGM を押す。

(プログラム番号1に戻ります。
再度、曲番号を予約してください。)

プログラムを
解除する

止める

STOP を押す。

(プログラム演奏が停止し、
プログラムが解除されます。)

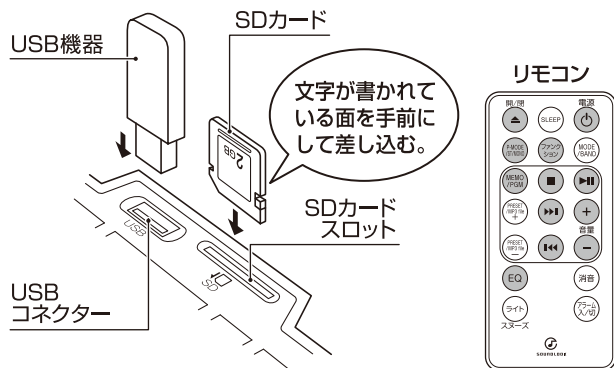
※最後の予約曲が終わると自動停止し、プログラムが解除されます。

MP3ファイルを聴く

- 本機で再生できるのはMP3ファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

■USB機器あるいはSDカードに保存された音楽ファイル(MP3ファイル)を聴くことができます。

1. USB機器/SDカードを本体に差し込む。

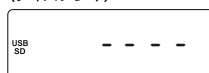


2. 電源 を押して電源を入れる。

3. を押して「USB/SD」を選択する。

- 1曲目から自動的に演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、再び1曲目から演奏が始まります。(全曲繰り返し)

〈ディスプレイ〉



音量を調節する	音量   を押す。
演奏を止める	止める  を押す。
一時停止をする	聴く  を押す。 一時停止 ● 演奏に戻るにはもう一度押す。
早送り・早戻しする	演奏中／一時停止中に   を押し続ける。 ● ボタンから指を離すと演奏に戻る。
曲の頭を探す (スキップ)	演奏中／一時停止中 (前の曲へ)   (次の曲へ) を押す。 停止中   で聴きたい曲を選んだ後、 聴く  を押す。 一時停止

※USB機器とSDカードが両方とも本体に差し込まれている場合、USB機器が優先されます。

USB機器について

USB2.0 FAT16/32 対応

- USBマストレージクラス対応のUSB機器をご使用ください。
それ以外のUSB機器を使用すると、正常に再生できない場合があります。また、上記規格に準拠したUSB機器でも種類や形状によっては、正常に再生できない場合があります。
- 使用するUSB機器がUSBマストレージクラスに対応しているかどうかは、USB機器メーカーにお問い合わせください。
万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

SDカードについて

FAT16/32 対応

- SD規格に準拠したSDカードおよびSDHC規格に準拠したSDHCカードをご使用ください。
- 64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカードが使用できます。
● マルチメディアカード(MMC)は使用できません。
- miniSD/miniSDHCカード、microSD/microSDHCカードは専用アダプターが必要です。
- SD/SDHC、miniSD/miniSDHC、microSD/microSDHCはSDアソシエーションの登録商標です。

※SDカード裏面の金属端子部に手や金属で触れないでください。

ご注意

- USB機器やSDカードによっては、読み込みに時間がかかる場合や、本機で正常に再生できない場合があります。
- 対象としている圧縮形式はMP3のみです。
- 本機からUSB機器やSDカードを取り外すときは、再生を停止し、電源を切り、数秒置いてから行ってください。
- パソコンなどでUSB機器/SDカードに音楽を保存する方法につきましては、パソコンメーカーにお問い合わせください。
- USB機器やSDカード再生中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。データ消失や故障の原因になります。

再生の順序

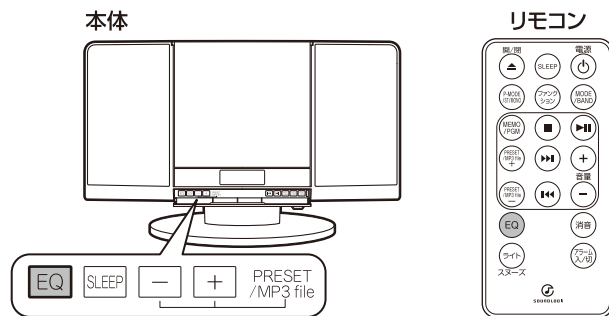
下図のように、USB機器/SDカードに音楽ファイルが書き込まれた順に再生します。
ファイルとフォルダが混在する場合、直接保存されたファイルを優先して再生します。

(例)

USB機器/SDカード内	作成日時	再生順
001.mp3	2011/04/01 12:30	②
002.mp3	2011/04/01 12:00	①
AAA	2010/01/01 12:00	
a001.mp3	2011/03/01 00:00	⑦
a002.mp3	2011/01/01 01:00	⑥
a003.mp3	2011/01/01 00:30	⑤
BBB	2009/01/01 12:00	
b001.mp3	2012/04/01 12:00	③
b002.mp3	2012/04/01 12:30	④

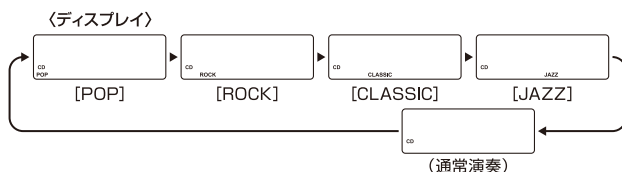
いろいろな演奏のしかた

イコライザー機能 (お好みの音質で聴く)

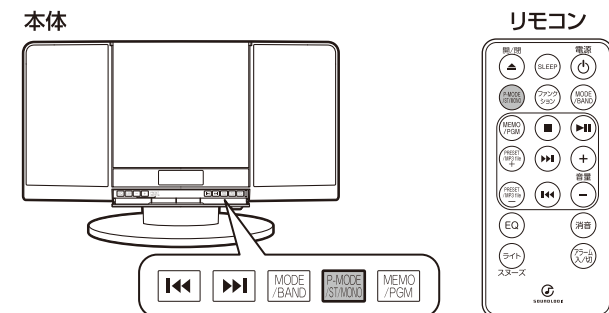


演奏中/一時停止中/停止中に

EQ を押す。 • 押すごとに設定が変わります。



リピート(くり返し)/ランダム(順不同)に聴く



演奏中/一時停止中に

P-MODE/ST/MONO を押す。 • 押すごとに設定が変わります。

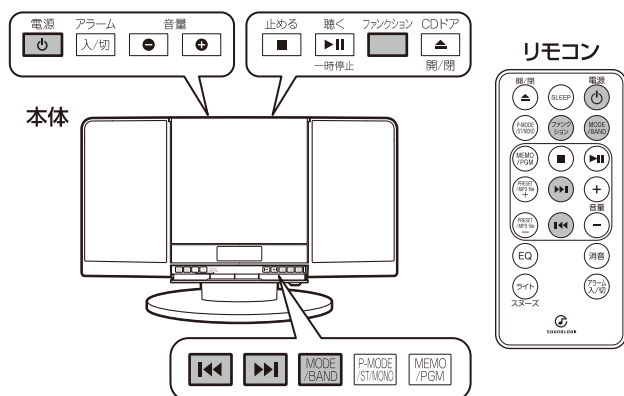


ALL (全曲繰り返し) … 全曲を繰り返し演奏します。

1曲 (1曲繰り返し) … お好みの1曲を繰り返し演奏します。

RND (ランダム(順不同)) … 順不同に演奏します。

ラジオを聴く



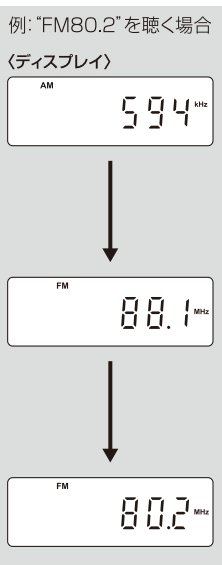
- 約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

1. **電源**
電源を入れる。

2. **ファンクション**
ディスプレイに“AM”または“FM”を表示させる。

3. **MODE/BAND**を押して
「AM」/「FM」を選ぶ。

4. **◀▶**で
聴きたい放送局を選ぶ。



ステレオ/モノラル
を切り換える

FM放送受信時

P-MODE/ST-MONOを押して
切り換える。



(FMステレオ放送受信時、ディスプレイ)
の左上に“FM”が点灯します。

FMステレオ放送
が雑音で聴き取
りにくいとき

P-MODE/ST-MONOを押して、ディスプレイ左上の
“FM”を消す。

プリセット機能 (お好みの放送局を記憶させる)

- 最大AM10局、FM10局まで記憶させることができます。

記憶させる

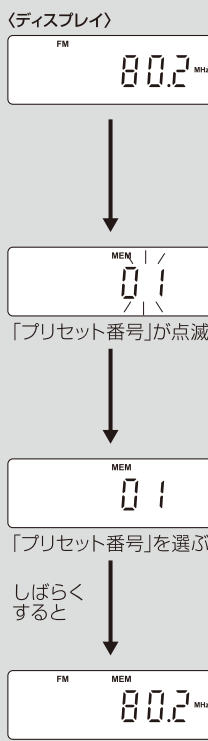
1. **◀▶**で
記憶させたい放送局に合わせる。

2. **MEMO/PGM**を押す。

3. **- +**で
記憶させたいプリセット番号を選び、
MEMO/PGMを押す。

4. 上記1～3の操作を繰り返す。

例: プリセット番号1に
“FM80.2”を設定

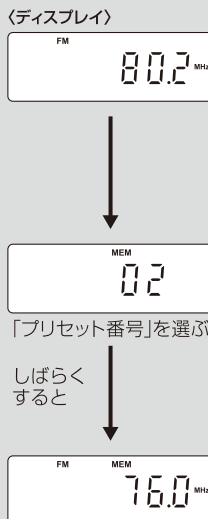


記憶させた放送局を聴く

1. **MODE/BAND**を押して
「AM」/「FM」を選ぶ。

2. **- +**を押して
プリセット番号を選ぶ。

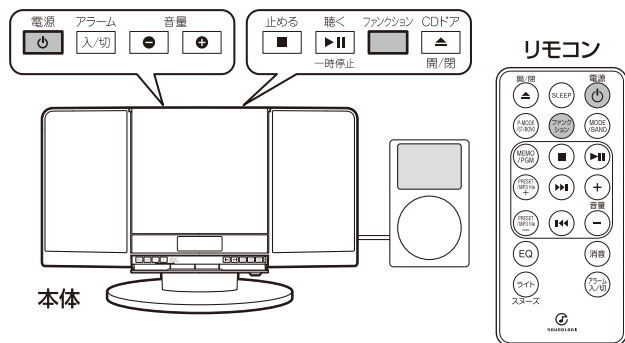
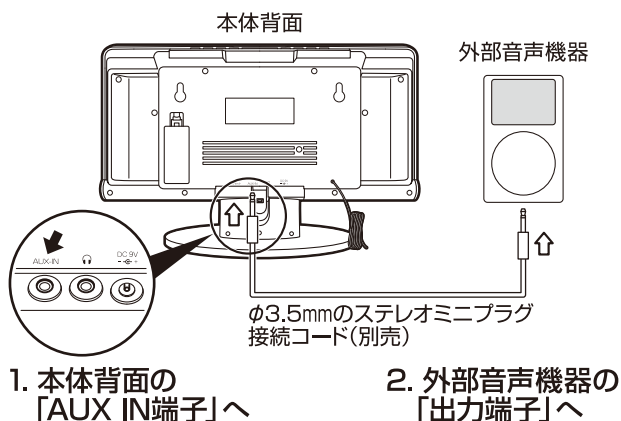
例: プリセット番号2に
設定した“FM76.0”
を聴く場合



外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

つなぎかた



- 電源 を押して電源を入れる。
- ファンクション を押して“AUX”を
選ぶ。
- 外部に接続した音声機器の演奏をはじめる。

音量に過不足
を感じるとき

本機と外部に接続した音声機器の
両方の音量を調節する。

※外部に接続した音声機器の出力が小さく、
音がうまく聴こえない場合があります。

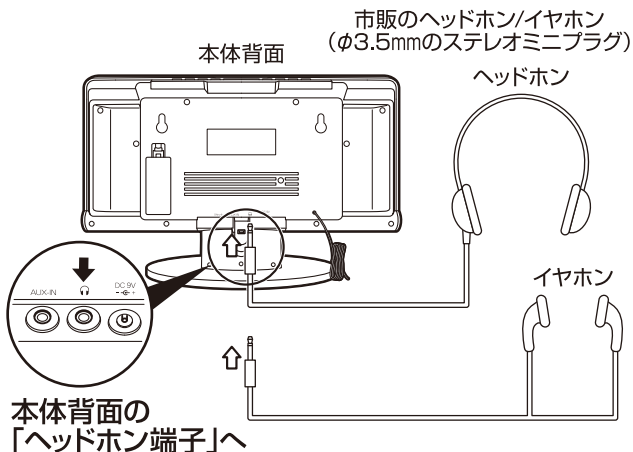
ご注意

外部の音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り
外してください。
CDやラジオ等を聴く場合、接続コードが本体に差し込まれたままにな
っていると、スピーカーから音が出ません。

市販の ヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンを本機につないで、演奏を聴くことができます。

つなぎかた



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンを本機につなぐときは、本機の音量を下げてくだ
さい。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

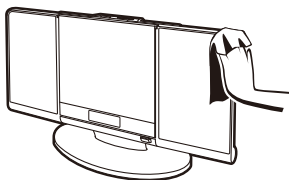
お手入れのしかた

本体のお手入れ

乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。



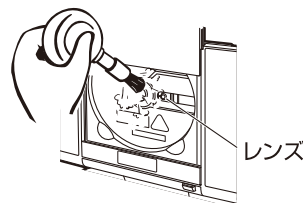
ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。本体を傷める原因となります。

レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のプロアーで2〜3回吹き、プロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをプロアーで吹いてください。



ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。

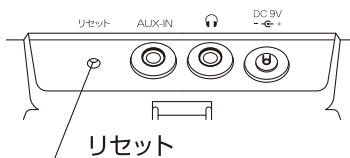
故障かな？と思われたときは

故障かな？と思われたときは以下の点をお調べください。
それでもなお異常があるときは、お買上げの販売店にご相談ください。

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	ACアダプターが抜けていませんか。	ACアダプターを確実に差し込んでください。
CDの演奏が始まらない。	CDの表裏を間違えていませんか。	文字のある面を外側にしてください。
	レンズが汚れていませんか。	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。
	レンズに霧や水滴がついていませんか。	CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。
	CDがひどく汚れていませんか。	汚れを落としてください。
CDが入っているのに“no d”と表示する。	ファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。	
	CD-R/CD-RWでは、ディスクや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	CDを替えて試してください。
CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか。	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか。	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか。	CDを替えて試してください。
	CD-R/CD-RWでは、CDや記憶に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	CDを替えて試してください。
ボタン操作をうけつけない。	_____	「リセット」スイッチを押して初期状態にし、もう一度試してください。
CDドアがすぐに開かない。	_____	安全の為、CD回転が止まってから開きます。

「リセット」スイッチについて

使用中、ボタン操作を受け付けないなど動作がおかしいときは、先の細いもので「リセット」スイッチを押してください。
出荷時の初期状態になります。



受信周波数	FM: 76.0～90.0MHz AM: 522～1629kHz	電源	AC100V 50/60Hz(付属ACアダプター使用時)
アンテナ	FM: ワイヤアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵	消費電力	15W
スピーカー	6.4cm(8Ω)×2個	最大外形寸法	スタンド装着時: 約360(W)×100(D)×200(H)mm
出力端子	ヘッドホン端子×1	質量	約1.3kg(乾電池を除く)
入力端子	AUX IN 端子×1	付属品	スタンド、リモコン(ボタン電池付属) ACアダプター、リモコンスタンド 壁掛け用ネジ(2本)、取付けガイド 取扱説明書、保証書
実用最大出力	2.0W+2.0W(JEITA)		

●ACアダプター (SAD-9015)

入力	AC100V 50/60Hz 18VA	コード長	約1.8m
出力	DC9V 1000mA	プラグ形状	φ3.5mm -  +

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「サービスセンター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	●電源コードやACアダプターが異常に熱い。 ●電源コードに深いキズや変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用 中 止
			このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

■お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号



ナビダイヤル
(全国共通番号)

TEL. 0570(07)5555

TEL.06(6262)3561

FAX.06(6268)1432

■サービスセンター

・修理センター

この商品の修理に関するお問い合わせについては下記へお寄せください。

東日本修理センター 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190

西日本修理センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号



ナビダイヤル
(全国共通番号)

TEL. 0570(05)8888

・部品センター

この商品の部品に関するお問い合わせについては下記へお寄せください。

部品センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号



ナビダイヤル
(全国共通番号)

TEL. 0570(00)3211

お客様相談窓口

／サービスセンターの受付時間

平日9:00～17:30

(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

2012年3月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)